

**製品名: CHST9 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08792**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	CHST9
別名	CHST9; Carbohydrate sulfotransferase 9; GalNAc-4-O-sulfotransferase 2; GalNAc-4-ST2; GalNAc4ST-2; N-acetylgalactosamine-4-O-sulfotransferase 2
遺伝子 ID	83539.0
SwissProt ID	Q7L1S5
免疫原	抗血清はヒト CHST9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

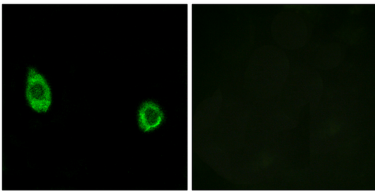
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、硫酸基転移酵素 2 ファミリーに属します。ゴルジ膜に局在し、N-グリカンおよび O-

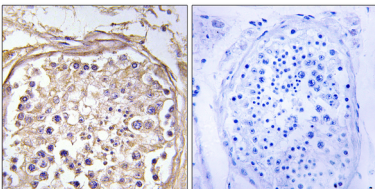
グリカンの両方において、非還元性 N-アセチルガラクトサミン (GalNAc) 残基の 4 位への硫酸基転移を触媒します。炭水化物上の硫酸基は、糖タンパク質、糖脂質、およびプロテオグリカンに高度に特異的な機能を付与し、細胞間相互作用、シグナル伝達、および胚発生に重要です。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2011 年 8 月]、注意: Met-1 または Met-8 のどちらが開始因子であるかは不明です。機能: N-グリカンおよび O-グリカンの両方において、非還元性 N-アセチルガラクトサミン (GalNAc) 残基の 4 位への硫酸基転移を触媒します。糖タンパク質ホルモンであるルトロピンおよびチロトロピンの生合成に関与し、それらの炭水化物構造の硫酸化を媒介する。ルトロピンよりも炭酸脱水酵素 VI に対して高い活性を示す。末端 GalNAc $\beta$ 1、GalNAc $\beta$  に対してのみ活性を示す。アイソフォーム 2 はコンドロイチンに対して活性を示すが、アイソフォーム 1 は活性を示さない。類似性: 硫酸基転移酵素 2 ファミリーに属する。組織特異性: 気管で高発現する。胎児肺、成体脾臓、精巣、唾液腺でも発現する。下垂体、心尖部、成体肺、前立腺、乳腺では低発現を示す。心臓、肝臓、脊髄では発現が弱い、全く発現しない。、

## 研究分野

## 画像データ



CHST9 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



CHST9 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。